



静岡県袋井市と締結した「ながら運転根絶パートナーシップ協定」 に基づく取り組みについて

亀山市は、先週22日に静岡県袋井市と「ながら運転根絶パートナーシップ協定」を締結しました。

本年3月、新名神高速道路下り線の野登トンネルにおいて、大型トラックの運転手がスマートフォンの画面を見ながら運転していたことが原因で、静岡県袋井市の家族5人を含む6人もの尊い命が失われる痛ましい事故が発生しました。

本市と袋井市とは、かねてより災害時相互応援協定をはじめ、健康都市や東海道の宿場町としてのつながりなど、様々な分野で連携を図っているところです。そのような中、袋井市の「ながら運転」の根絶に関する取り組みを知り、共に「ながら運転」の根絶、また、交通事故の削減を目指したいとの思いから、このたび、パートナーシップ協定の締結に至ったところです。

本協定では、主な活動として（１）「ながら運転」根絶のための共同啓発・広報活動の展開、（２）情報共有、（３）地域社会・事業者との連携強化、（４）広域連携の推進に関することに両市が連携・協力して取り組むこととしております。

今後、二度とこのような痛ましい事故を発生させないという強い決意のもと、「ながら運転」の根絶および交通死亡事故ゼロを目指すとともに、この取り組みが全国に広がればと願うものです。